札幌市民防災団体連合会 2026.8月号

札幌市民防災

vol. 32

札幌市民防災団体連合会
発行責任者　渡辺　恵美子

令和7年度 札幌市総合防災訓練（2月1日）

大和ハウス プレミストドーム（豊平区）にて開催

札幌市総合防災訓練は、災害に強い安心・安全なまちづくりを目指し、これまで各区 持ち回りで行われてきましたが、令和7年度からは市が主催して開催することになりました。

会場となった大和ハウス プレミストドームは、災害時には支援物資の集積拠点となる施設です。当日は、冬期開催として冬の避難所体験や災害疑似体験、はたらく車の展示など、冬の災害への備えについて多彩な体験を通じて学ぶことができました。来場者は約5,000人にのぼりました。





大切なのは、当日の体験だけで終わらせないことです。日ごろから「自分の命は自分で守る」「地域は地域の力で守る」という意識を持って生活することが欠かせません。 当日は非常食の配布や段ボールを使った簡易ベッドの製作なども行われ、子どもたち にとっても良い体験の場となりました。

令和7年度 札幌市防災表彰式・札幌市自主防災講演会（1月22日）

ホテルモントレ エーデルホフ札幌にて開催

表彰式は、地域の自主防災活動に率先して取り組み、模範となる活動を行った団体の 日ごろの功績をたたえるもので、毎年「防災とボランティア週間」の時期に行われています。

表彰式後には近藤肇氏を講師に迎え、「天気予報から防災を考える」と題した講演が行われました。参加者からは「普段聞くことのできない話だったので、家族にも伝えたい」との声が寄せられました。 受賞団体の皆様、おめでとうございます。



受賞団体一覧

中央区	宮の森東三町内会	北区	麻生商店街振興組合
東区	札幌市東区もとまちまちづくり連合会	白石区	札幌市東川下小学校保護者と先生の会
厚別区	厚別勇往振興会	豊平区	株式会社平岸グランドビル
清田区	美里町内会	南区	豊滝中央町内会
西区	中央発寒町内会	手稲区	新発寒まちづくり委員会

新体制で進める
これからの札幌市民防災団体連合会



札幌市民防災団体連合会　会長　渡辺　恵美子

札幌市民防災団体連合会は平成17年9月8日に設立され、今年で22年目を迎えました。本会は、札幌市防災表彰の受賞団体および本会の目的に賛同いただいた団体で構成されています。市民自治の精神に基づき、自主的な活動を通じて、安心・安全で住みよいまちづくりを進めることを目的としています。



市の人口増加にともない、加入団体も単位町内会からマンションの管理組合まで広がり、自治会や加入団体のあり方も社会情勢とともに大きく変化しています。また、気候変動により、世界各国で災害や水害が相次いでおり、日ごろからの心構えがこれまで以上に必要となっています。住民だけでなく、民間企業、防災関係機関、行政等と連携・協働していくことが求められます。

まずはご家族で、そして町内会 の研修会などに積極的に参加し、知識を身につけておきましょう。何より大切なのは、自分自身が健康であることです。日ごろから十分にお気を付けください。

令和8年度 総会（6月23日）

カナモトホールにて開催

お忙しいなか会員の皆様のご協力をいただき、令和7年度行事報告、決算報告、監査報告、ならびに令和8年度行事計画および予算について、いずれも無事に承認されました。行事の詳細は後日お知らせいたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、役員の選任について、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。今後ともよろしくお願いいたします。

新体制

会　長：渡辺　恵美子
副会長：尾上　潤吉、汐海　一義
総　務：水口　綾香
会　計：工藤　広幸
広　報：渡辺　恵美子
監　事：長谷川　利秋、有田　京史

幹事　中央区：佐々木　康彦
厚別区：中川　喜久雄
豊平区：中鉢 聡、有田　京史
清田区：尾上　潤吉、汐海　一義
手稲区：小野塚　宏南

※ 前会長 田畑隆二氏が令和7年3月9日に逝去されました。生前、本会の運営にご尽力 いただいたことに深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。 会長逝去にともない、会則の見直しや関係機関との連絡調整に時間を要したため、本号の発行が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

今後の予定

令和8年11月中旬　　研修会
令和9年1月　　札幌市防災表彰式・自主防災講演会
令和9年2月6日（土）　大和ハウス プレミストドームにて 札幌市総合防災訓練

★札幌市より行事内容・日程等の連絡がありましたら、改めてご報告いたします。★

あさぶ商店街の防災への取り組み



麻生商店街振興組合　理事長 木村 弘



防災マップの作製

今回、札幌市の防災表彰をいただき、関係各位に感謝いたします。

札幌市北区の麻生商店街振興組合では、２０１１年に発生した東日本大震災をきっかけに、商店街の災害対策、防災対策の必要性が意識され、経済産業省の地域商業活性化支援事業を活用し災害備品倉庫を商店街の駐車場内に設置、様々な避難活動資材を備蓄しております。麻生地区は、市営地下鉄の始終発駅で、JR新琴似駅やバスターミナルなども所在する交通の要衝であることから、商店街には災害時、来街者の一時避難場所としての役割も求められています。これまであさぶ商店街女性部が中心となって活発な活動を行っており、女性と子どもの目線からの防災体験や麻生まちづくり協議会と麻生連合町内会、商店街女性部の三者による防災マップの製作などを行ってきましたが、今年度からは商店街全体を対象とした自主防災計画の整備を予定しています。多くの方が麻生を訪れ、買い物や飲食を楽しめるよう、日常的に防災・減災に取り組み、安全・安心の街づくりを進めてまいります。

東区元町地区の防災の取り組み



元町まちづくり連合会　会長　伊藤　礼子





上：シミュレーション訓練の様子
右：整備した防災無線

元町地区では、札幌市の連町・連合会としては２例目となる「地区防災計画」を令和元年12月に策定し、その実践と住民啓発につとめています。具体的には、計画に基づき、災害発生後の「地区災害対策本部設置」に加え、各町内会との連絡体制を構築するシミュレーション訓練を3年間実施してまいりました。

災害発生時にいちばん大切なことは、正確で迅速な情報のやりとりです。そのため、防災対応簡易無線機を地区内の町内会館に配備し、町内会と連合会災害対策本部の的確な連絡体制を訓練の柱に位置付けました。また、地区内に６カ所ある町内会館・集会所のうち２館に無線用の屋外アンテナを立て、地区内全域に渡るクリアな交信を確保しました。無線機は各町内会のイベントなどで使うとともに、年に１回は全体で交信訓練をしています。また、連合会から各会館には、災害発生時に必要となる備品、消耗品を「災害対策キット」として提供し、役立てていただいております。

危機管理局からの　お知らせ

若年層への防災普及啓発

札幌市危機管理局危機管理部危機管理課地域防災担当係長
渡部　聖一

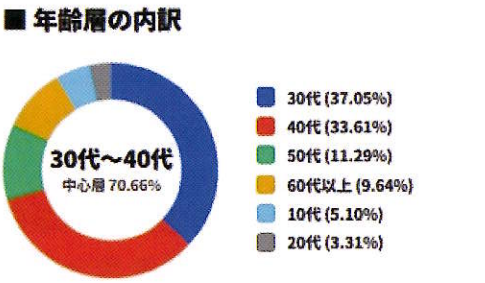
札幌市が毎年行っている「市民意識調査」の結果、「災害に対する備えを行っている市民の割合」は、令和７年度調査で88.2%となっていますが、年代別に見ると、毎年20代以下または30代の世代で備えている割合が低くなっています。

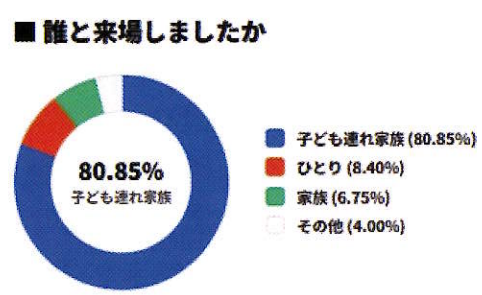
このため、危機管理局では、令和６年度から30代以下の若年層をターゲットとした重点的な防災普及啓発に取り組んでいます。防災動画のYouTubeでの公開やSNSでの発信、乳幼児のいる子育て世帯向け防災講座を実施しているほか、令和7年度の札幌市総合防災訓練では、子育て世代のファミリー層を主なターゲットにした防災イベントを実施しました。当日は子ども連れの家族を中心に約5,000人が来場し、96.8%の方がアンケートで「防災意識が高まった」と回答しています。

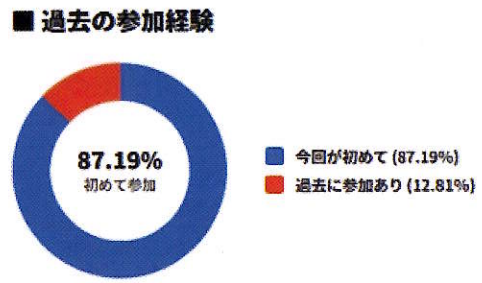
令和９年２月６日（土）に実施する令和８年度の札幌市総合防災訓練では、地域での防災活動についても紹介する取組を予定しています。

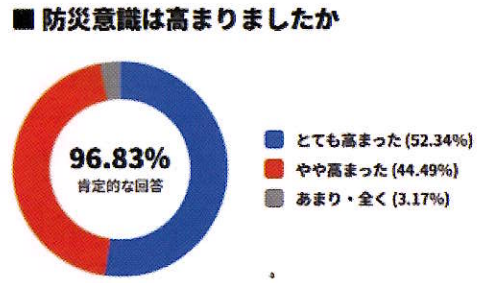


令和7年度札幌市総合防災訓練（大和ハウスプレミストドーム）









令和7年度札幌市総合防災訓練
参加者アンケート結果

編集後記

新年度を迎え、会員・関係団体の皆様には、日ごろより連合会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。連合会の体制や会則についても、令和の時代に合った内容へと見直しを進めてまいりたいと考えております。皆様の日ごろの近況報告もぜひ お寄せください。

これから夏本番を迎えます。熱中症にならないよう、健康には十分お気を付けください。

広報部長（会長兼務）渡辺 恵美子

札幌市民防災団体連合会
2026年8月17日発行